

3 あいち森と緑づくり事業アンケート結果 < 事業関係者アンケート >

調査のあらまし

(1) 調査目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、事業関係者の事業に対する有効性・満足度・今後の期待度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

③標本数 820

④抽出方法 (2)の調査の項目のうち①～⑤、⑨～⑬は全数調査、⑥～⑧は層化無作為抽出法

⑤調査方法 郵送法

⑥調査期間 平成24年8月18日～8月31日

(2) アンケート調査の項目と回答率

①人工林整備事業 市町村アンケート

送付数 10/回答数 10 回答率 100%

②里山林整備事業実施市町村アンケート

送付数 16/回答数 16 回答率 100%

③里山林整備事業 事業未実施市町村アンケート

送付数 14/回答数 11 回答率 78.6%

④都市緑化整備事業市町村アンケート

送付数 51/回答数 49 回答率 96.1%

⑤木の香る学校づくり推進事業市町村アンケート

送付数 54/回答数 46 回答率 85.2%

⑥木の香る学校づくり推進事業 導入校アンケート

送付数100/回答数 67 回答率 67.0%

⑦人工林整備事業森林所有者アンケート

送付数300/回答数242 回答率 80.7%

⑧里山林整備事業 森林所有者アンケート

送付数 50/回答数 35 回答率 70.0%

⑨里山林整備事業 地域活動団体アンケート

送付数 15/回答数 14 回答率 93.3%

⑩人工林整備事業 事業体アンケート

送付数 53/回答数 46 回答率 86.8%

⑪森林整備技術者養成研修事業体アンケート

送付数 34/回答数 28 回答率 88.4%

⑫森林整備技術者養成研修受講者アンケート

送付数117/回答数 83 回答率 70.9%

⑬木の香る学校づくり推進事業机・椅子製造販売業者アンケート

送付数 6/回答数 4 回答率 66.7%

(4) 調査委託先

株式会社ライフライン

(5) 回収結果

①標本数 820

②回収数 651 (79.4%)

(3) 調査の設計

①調査地域 愛知県

②調査対象 県内市町村、学校関係者、森林所有者、地域活動団体、森林整備事業体、机・椅子製造販売業者

1

2

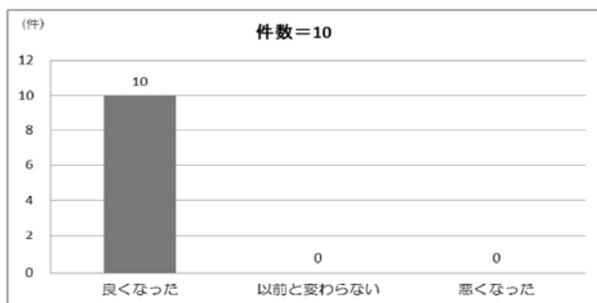
調査結果

1 人工林整備事業 市町村アンケート

送付数 10/回答数10 回答率 100%

(1) 事業実施による森林の変化

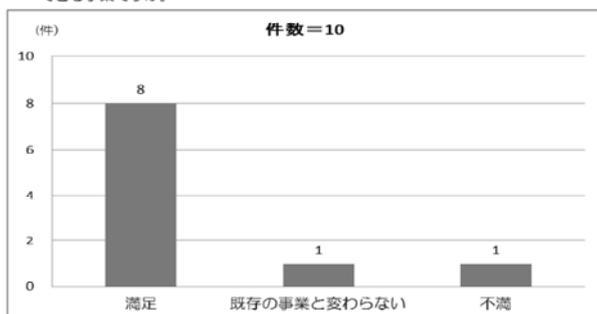
問1 あいち森と緑づくり人工林整備事業を実施した結果、あなたの市町村の森林が良くなったと感じますか。



すべての実施市町村が人工林整備事業を実施して「良くなった」と答えている。

(2) 事業に対する満足度

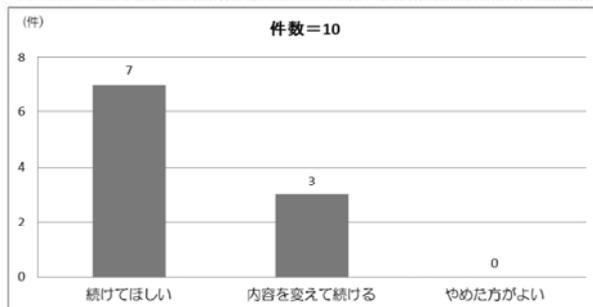
問2 あいち森と緑づくり人工林整備事業の内容は、あなたの市町村の森林にとって満足できる事業ですか。



「満足」できる事業だと回答が多く評価が高い。「不満」の理由として、「距離要件が定められ、十分な放置林対策となっていない」の意見がある。

(3) 今後の事業の在り方

問3 あいち森と緑づくり人工林整備事業を今後も続けていった方がよいと思いますか。



事業を継続、あるいは内容を変えて事業を継続した方がよいという意見がすべてを占めている。

(4) 事業内容の変更点

問4 問2で「3不満」、または問3で「2内容を変えて続ける」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような内容を変えたらよくなると思いますか。

「距離要件の緩和・撤廃をしてほしい」、「搬出間伐の強化・徹底をしてほしい」、「広葉樹植栽事業の新設」、「雑木林での間伐の実施」の意見がある。

3

4

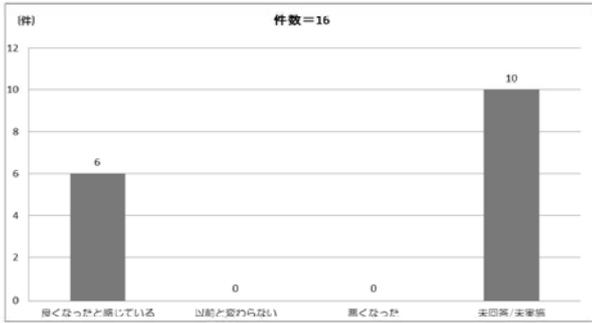
2 里山林整備事業 事業実施市町村アンケート

送付数 16/回答数16 回答率 100%

(1) 事業実施による環境の変化

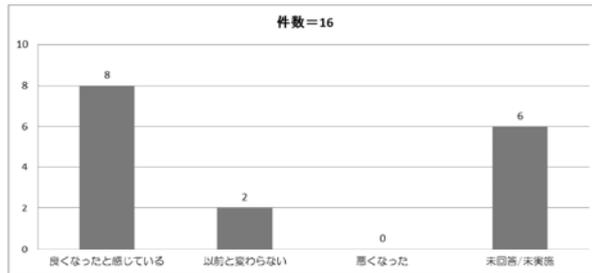
問1 次の里山林整備事業を実施した結果、貴市町村の里山林が良くなったと感じますか。

①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について



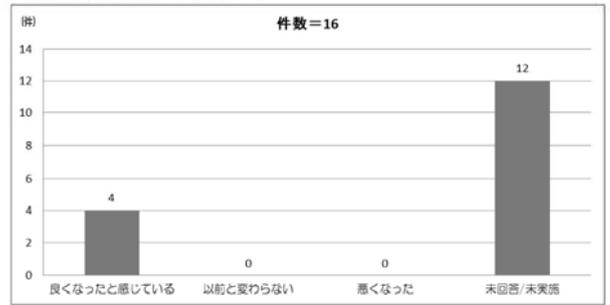
「良くなったと感じている」の回答が多く、「悪くなった」の回答はない。

②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について



「良くなったと感じている」の回答が多く、「悪くなった」の回答はない。

③里山林再生整備事業（県営事業）について

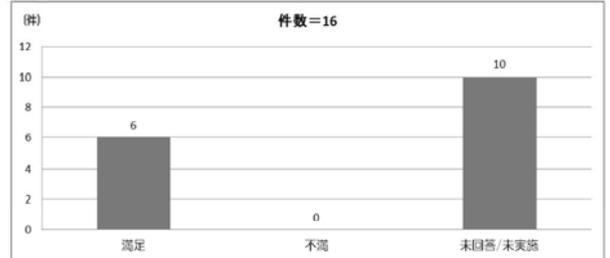


「良くなったと感じている」の回答が多く、「悪くなった」の回答はない。

(2) 事業に対する満足度

問2 実施した里山林整備事業は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか。

①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について

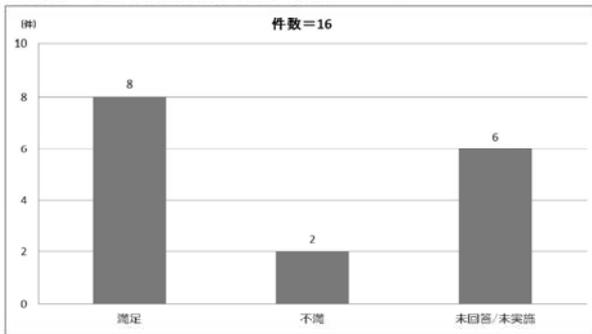


「満足」できる内容だと回答が多く評価が高い。

5

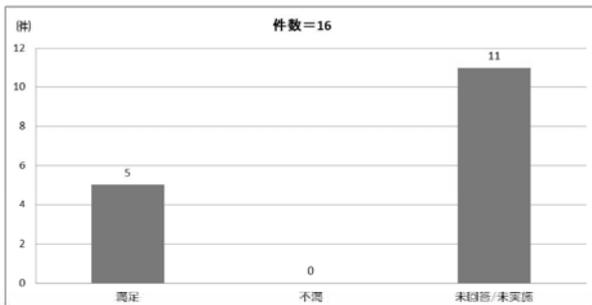
6

②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について



「満足」できる内容だと回答が多く評価が高い。

③里山林再生整備事業（県営事業）について



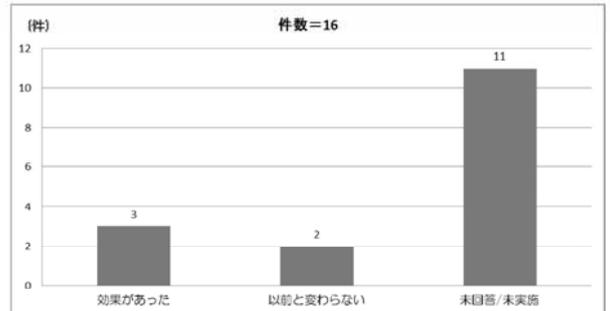
「満足」できる内容だと回答が多く評価が高い。

不満の理由として、「竹林伐採後に植栽し有効利用する方法がないか」の意見がある。

(3) 事業実施による効果

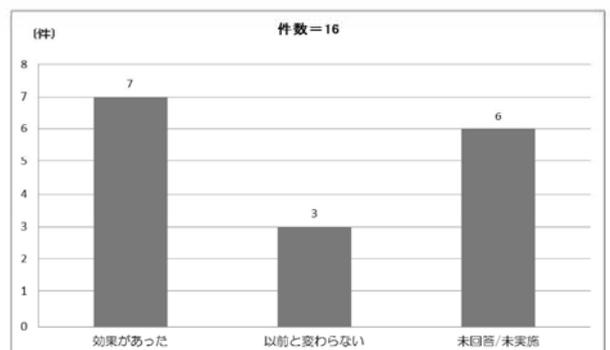
問3 里山林整備事業の実施後、地域の方々の里山林の利用が増えたり、関心が高まるなどの効果があったと思いますか。

①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）の実施後について



少数であるが、意見が割れている。

②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について

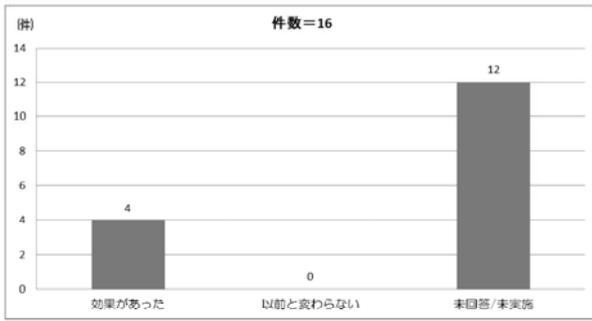


「効果があった」の意見が多い。

7

8

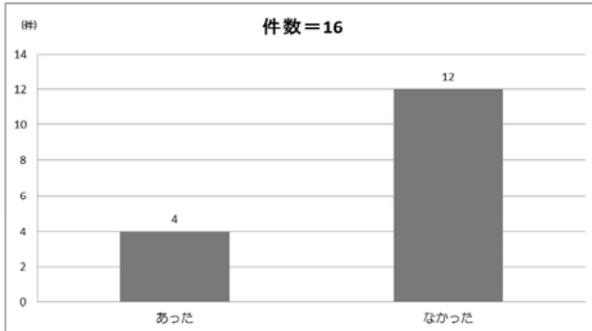
③里山林再生整備事業（県営事業）について



「効果があった」の意見が多い。

(4) 事業実施に向けての採択の有無

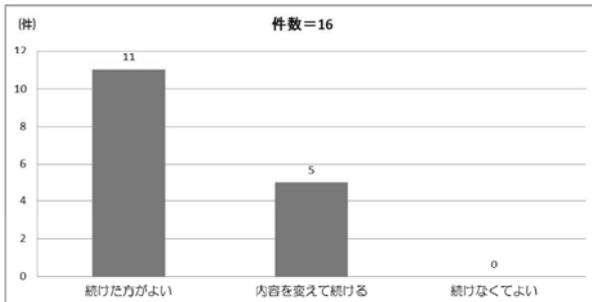
問4-1 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。



不採択としたことが「あった」の回答がある。

(6) 今後の事業の在り方

問6 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、今後も続けていった方がよいと思いますか。

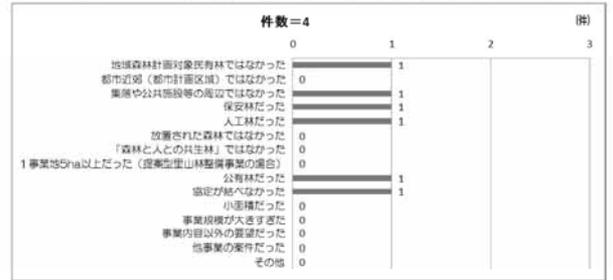


「続けた方がよい」の意見が大半を占めており、「続けなくてよい」の回答はない。「内容を変えて続ける」の意見として、「補助の上限を上げる」、「過年度実施箇所について、再度事業が出来るようにしてほしい」がある。

(7) その他、この事業に対する自由意見

「竹林伐採後の植栽の補助」、「竹林整備の要件の緩和」、「現行のあいち森と緑づくり税の規定の継続」、「20年協定の緩和」、「あいち森と緑づくり事業による新団体の支援」などがある。

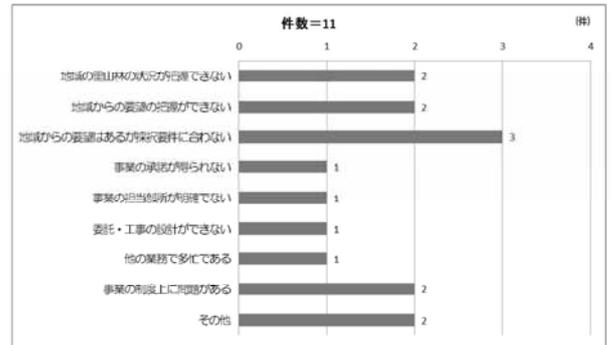
問4-2 (問4-1で「1あった」と答えた方に)その理由は何ですか。(複数選択可)



突出して偏った理由(回答)はない

(5) 事業推進にあたっての障害

問5 里山林整備事業を進めるにあたって、支障になっていることがありますか。(複数選択可)



多様な支障理由がある。

「事業の制度上に問題がある」の意見では、「協定期間20年が長すぎて承諾されない」や「私有地を含まない場合でも採択できるようにしてほしい」との意見がある。

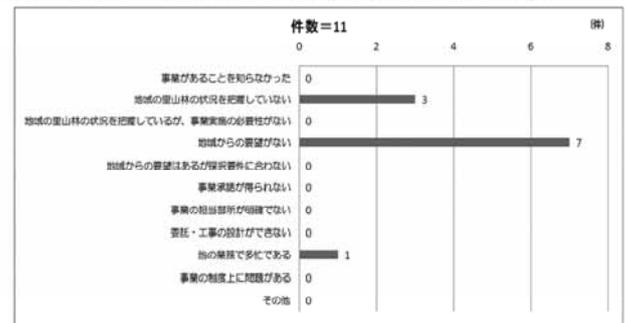
また、「その他」の意見として、「要望者自身で山の所有範囲がわからない」、「税金を個人が放置している山林整備に使いにくい」などがある。

3 里山林整備事業 事業未実施市町村アンケート

送付数 14 / 回答数 11 回答率 78.6%

(1) 事業実施できない理由

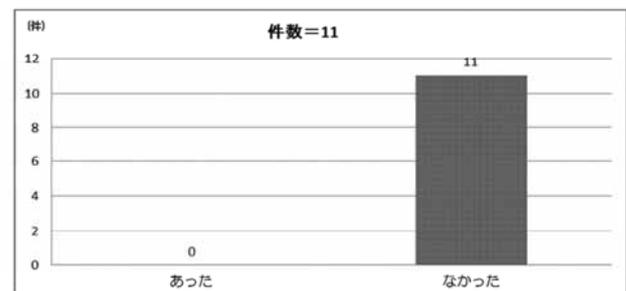
問1 貴市町村で、里山林整備事業を実施していない理由を教えてください。



「地域からの要望がない」などの意見が多数を占める。

(2) 事業実施に向けての採択の有無

問2-1 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。



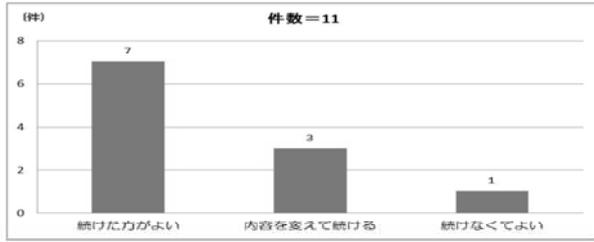
相談の段階で不採択にしたことは「なかった」の意見がすべてを占めている。

問2-2 (問2-1で「1あった」と答えた方に)その理由は何ですか。

(問2-1で「あった」と答えた方がなかったため、該当なし)

(3) 今後の事業の在り方

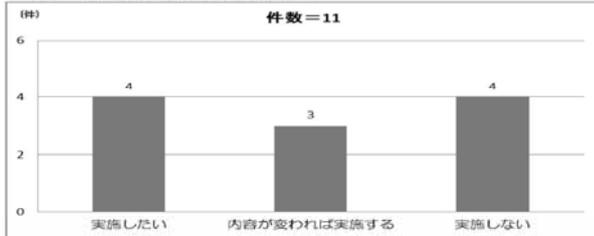
問3 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、今後も続けていった方がよいと思いませんか



「続けた方がよい」の意見が大半を占める。「内容を変えて続ける」の意見として、「事業の適用要件を緩和する」、「森林所有者との協定簡素化」がある。また、「続けなくてよい」の理由として、「採択要件に当てはまる箇所が本町にはない」がある。

(4) 事業継続による実施の有無

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、今後も続けていった場合、貴市町村では事業を実施したいと思いますか。



意見に偏りはないが、「内容が変われば実施する」の意見として、「保安林での間伐作業を対象とする」、「森林所有者との協定簡素化」、「所有者との20年の協定を短くする」がある。また、「実施しない」の理由として、「地元からの要望がない」、「現在実施する予定がない」がある。

(5) その他、この事業に対する意見

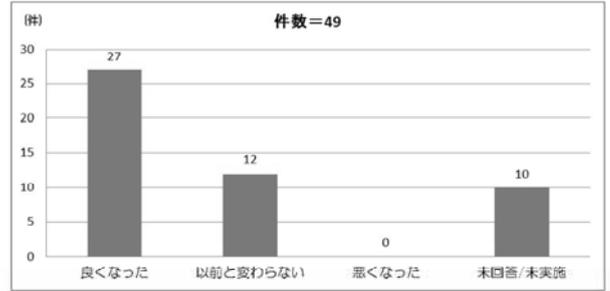
「事業効果が県民に平等となるような規定・条件の検討をしてほしい」などの意見がある。

4 都市緑化推進事業 市町村アンケート

送付数 51 / 回答数49 回答率96.1%

(1) 事業実施による環境の変化

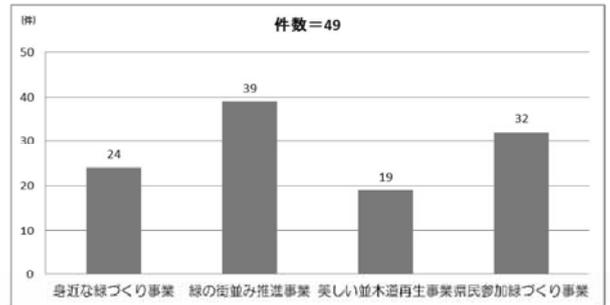
問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を実施した結果、あなたの市町村の都市の緑が良くなったと感じますか。



実施市町村では都市の緑が「良くなった」という回答が半数を占めた。

(2) 継続したい具体的な事業内容

問2 都市緑化推進事業の内、今後も続けていった方がよい事業はどの事業ですか。(複数回答可)



何れの事業においても継続していった方がよいとの意見がある。

(3) 事業内容の変更点

問3 都市緑化推進事業を今後も続けていった場合、具体的にどのような内容を変えたら良くなると思いませんか。

「交付対象基準(面積要件等)の緩和」、「補助対象及び、補助上限額の拡充」、「緑化事業に付随して行なう施設整備や維持管理を対象としてほしい」、「軌道緑化を対象としてほしい」、「県主体の事業・制度のPRの強化」などの意見がある。

(4) 新規事業の提案

問4 これまでになかった事業で、新たに加えてほしい事業がありましたらご提案ください。

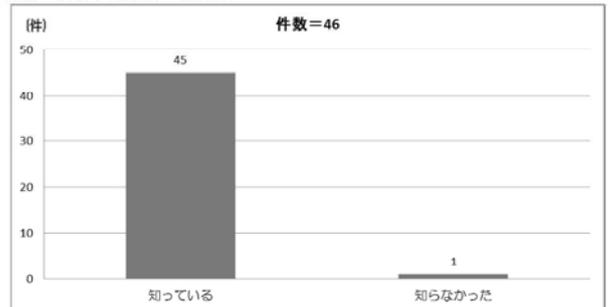
「公有地に対する緑化の補助事業」、「緑化フェアの開催」、「既存集落内の竹林整備事業に対する補助」などの提案がある。

5 木の香る学校づくり推進事業 市町村アンケート

送付数 54 / 回答数46 回答率85.2%

(1) 事業の認知状況

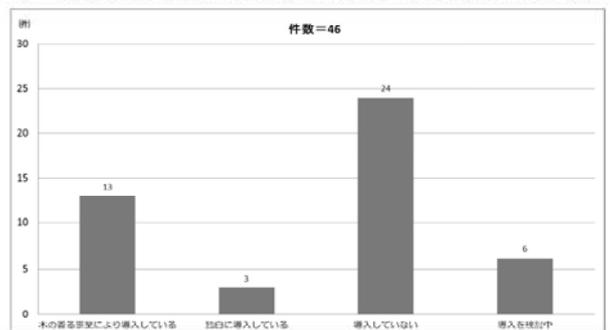
問1 この事業をご存じですか。



事業を「知っている」が大半を占めている。

(2) 国産木材導入の状況

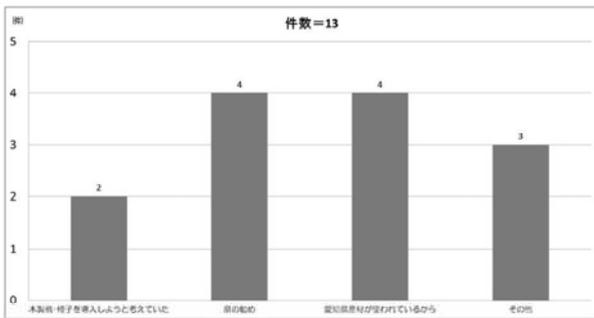
問2 愛知県産木材に限らず、国産材を使った木製の机・椅子の導入を行っていますか。



「導入していない」の回答が半数以上を占めている。

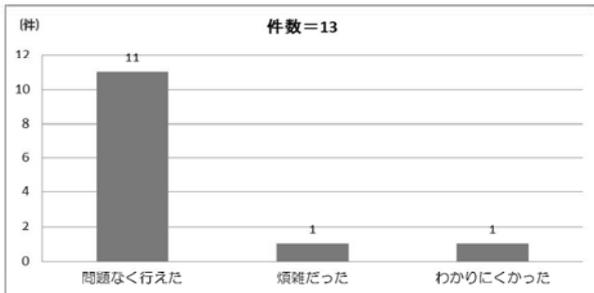
(3) 事業実施の事務手続

問2で「木の香る学校づくり推進事業により導入している」と答えた方にお聞きします。
問3-1 「木の香る学校づくり推進事業」を利用したきっかけは何ですか。



回答に偏りはなく、多様なきっかけがある。
「その他」の意見として、「交付金で県内の木材を使用した机・椅子が安価で購入できた」、「環境教育に役立つと考えた」などの意見がある。

問3-2 事業実施のための事務手続きはスムーズに行えましたか。

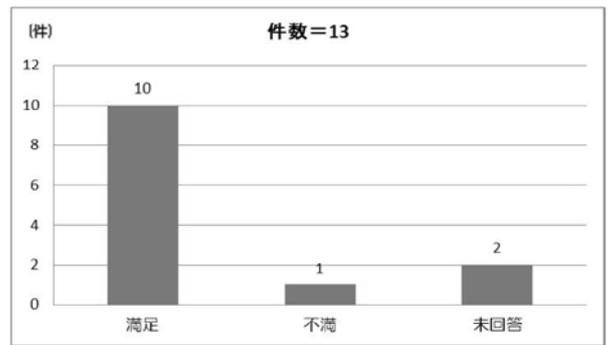


「問題なく行えた」の回答が大半を占めている。

(4) 事業に対する満足度

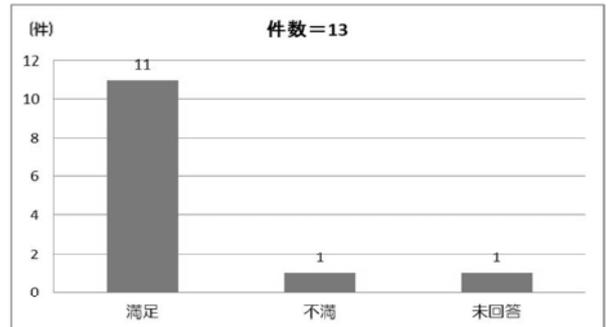
問3-3 木の香る学校づくり推進事業(事業及び導入した机・椅子)はあなたの市町村にとって満足できるものでしたか。

①事業について



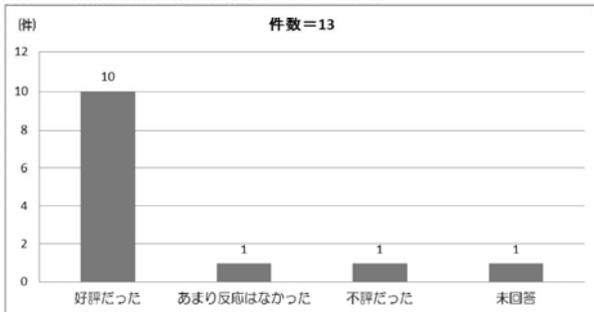
「満足」の回答が大半を占めている。
「不満」の理由として、「当初の予算と合わなかった」の意見がある。

②導入した机・椅子について



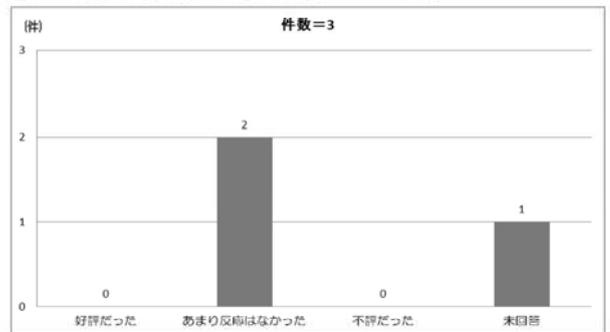
「満足」の回答が大半を占めている。
「不満」の理由として、「傷がつく、下敷きを使わないと書きづらい」などの意見がある。

問3-4 事業を実施した学校の反応はいかがでしたか。



「好評だった」の回答が大半を占めている。
「不評だった」の理由として、「机・椅子が重い、机・椅子が新JIS規格のため教室が狭くになってしまう」などの意見がある。

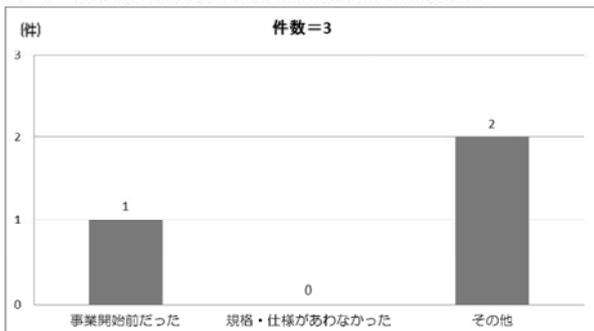
問4-2 木製机・椅子を導入した学校の反応はいかがでしたか。



学校から「あまり反応はなかった」の回答が多い。

(5) 事業を行わなかった理由

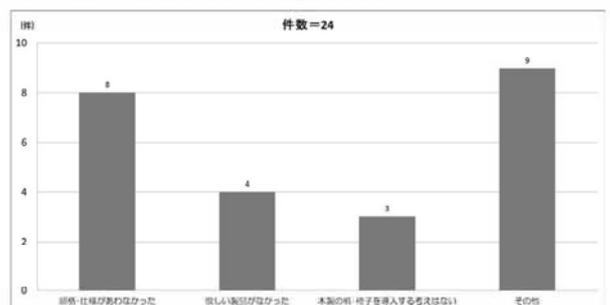
問2で「2: 独自に導入している」と答えた方にお聞きします。
問4-1 木の香る学校づくり推進事業を利用しなかった理由は何ですか



「事業開始前だった」の回答が1件で、「規格・仕様が合わなかった」の回答はない。
「その他」として、「町の予算編成・執行時期と補助金交付時期のズレがある」などの理由がある。

(6) 木製机・椅子を導入しない理由

問2で「3: 導入していない」と答えた方にお聞きします。
問5 木製の机・椅子を導入していない理由は何ですか。



「規格・仕様が合わなかった」の理由が多く、次に「欲しい製品がなかった」の理由が多い。
「木製の机・椅子を導入する考えはない」の理由として、「少量の買い替え・買い増しのため」、「学校間で融通できるように全部同じタイプを使用している」などの意見がある。
「その他」の理由として、「価格の問題」、「従来の規格の机・椅子を追加で購入している」などがある。

「導入中の机・椅子の規格と合わない」などの意見がある。次に、「事業内容が改善されれば導入したい」の意見では、「椅子の補助足を机と同等にする」、「あいし認証材を使用すれば全額補助にしてほしい」などの意見がある。

(9) その他、この事業に対する意見

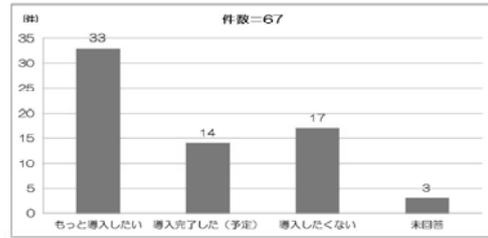
「30年度以降も事業を継続してほしい」、「間伐材の欠点、問題点等の改善」、「机・椅子以外の製品（靴箱、ロッカー、遊具など）も導入されるとよい」などの意見がある。

6 木の香る学校づくり推進事業 導入校アンケート

送付数100/回答数67 回答率67.0%

(1) 事業実施後の状況

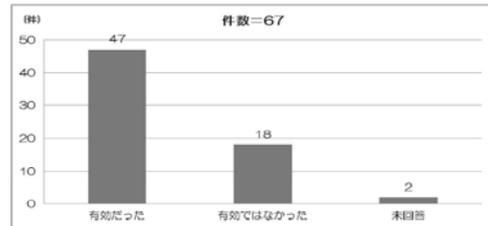
問1 あいしと絆づくり事業（木の香る学校づくり推進事業）により木製机・椅子を導入していかがでしたか。



「もっと導入したい」の回答が半数近くを占め、次に「導入したくない」が多い。「導入したくない」の理由として、「傷つきやすい」、「扱いにくい」、「重い」、「規格が合わない」などの意見がある。

(2) 事業実施の効果

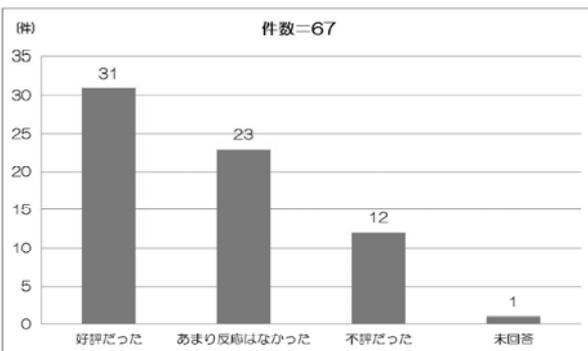
問2 木製机・椅子の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について児童生徒に知ってもらったかとして有効でしたか。



「有効だった」の回答が半数以上を占める。「有効ではなかった」の理由として、「内容的にやや難しい」、「森林の整備と結びつきが弱い」、「県や学校が生徒に対して説明していない」との意見がある。

(3) 事業実施による児童の反応

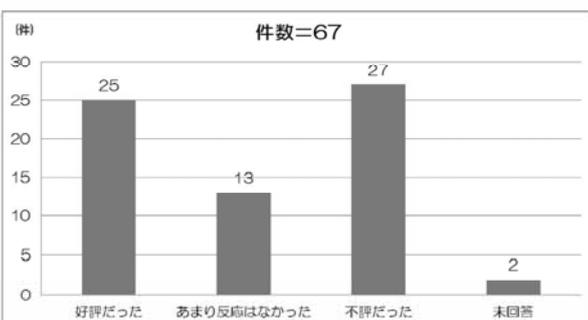
問3 木製机・椅子を導入したことによる児童生徒たちの反応はいかがでしたか。



「好評だった」の回答が半数近くを占め、次に「あまり反応はなかった」が多い。「不評だった」の理由として、「傷つきやすい」、「重い」などの意見がある。

(4) 事業実施による先生の反応

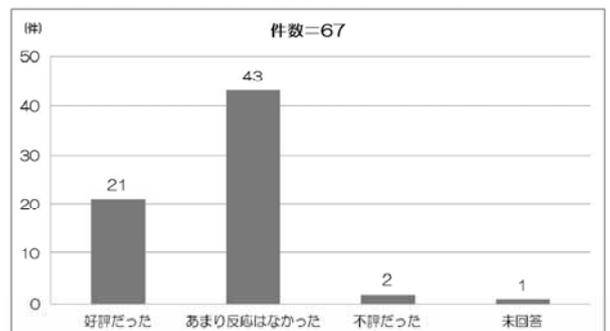
問4 木製机を導入したことによる先生たちの反応はいかがでしたか。



「不評だった」の回答が最も多く、次に「好評だった」の回答が多い。「不評だった」の理由として、「傷つきやすい」、「重い」、「扱いにくい」、「規格が合わない」、「子供達の満足度が低い」などの意見がある。

(5) 事業実施による保護者の反応

問5 木製机を導入したことによる保護者等の反応はいかがでしたか。



「あまり反応はなかった」の回答が半数以上を占め、次に「好評だった」の回答が多い。「不評だった」の理由として、「重い」との意見がある。

(6) その他、この事業に対する意見

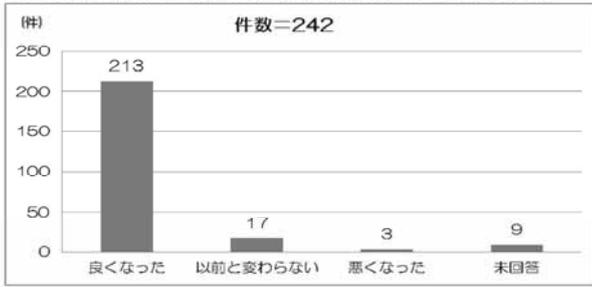
「木のぬくもりが感じられ、良いと思う」、「今後も事業が継続してほしい」、「大きさ、重さを改良してほしい」、「傷、割れ等、強度を改良してほしい」、「机・椅子以外の製品も導入されるとよい」、「ねじを締めたり、高さ調節しやすくしてほしい」などの意見がある。

7 人工林整備事業 森林所有者アンケート

送付数300/回答数242 回答率80.7%

(1) 事業実施による効果

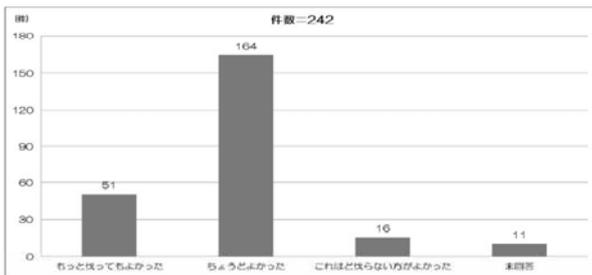
問1 人工林整備事業で行った間伐で、あなたの森林が良くなったと思いますか。



「良くなった」の回答が大半を占める。
「悪くなった」の理由として、「悪い木が伐られずに残っている」、「後片付けが非常に悪い」などの意見がある。

(2) 事業実施の反応

問2 本数率で40%の強度間伐を実施して、どう思いましたか。



「ちょうどよかったです」の回答が半数以上を占め、次に「もっと伐ってもよかったです」が多い。
「これほど伐らない方がよかったです」の理由として、「風の強い地区では倒れやすくなってしまふ」、「良い木も伐られてしまった」、「山林面積に比べやや過大な感じ」などの意見がある。

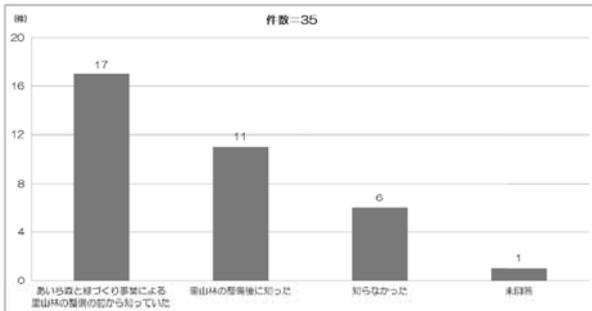
25

8 里山林整備事業 森林所有者アンケート

送付数 50/回答数35 回答率70.0%

(1) 里山林整備の必要性

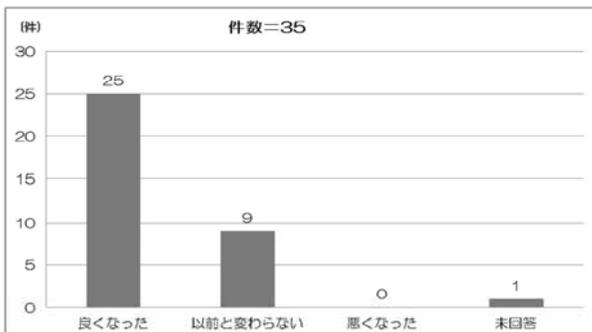
問1 生物多様性などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。



「整備の前から知っていた」の回答が半数近くを占め、次に「整備後知った」の回答が多い。

(2) 事業実施の反応

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたの森林が良くなったと思いますか。

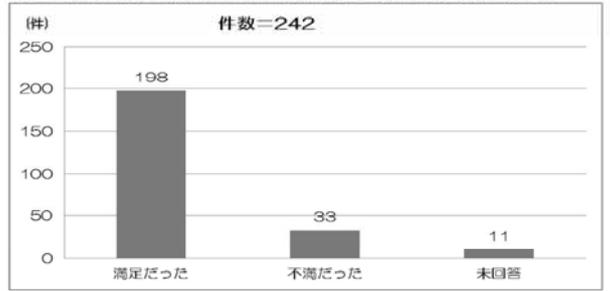


「良くなった」の回答が半数以上を占め、「悪くなった」の回答はない。

27

(3) 事業実施の満足度

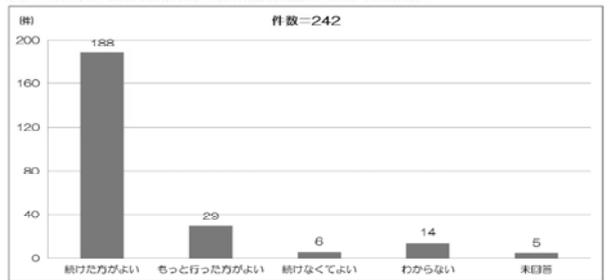
問3 人工林整備事業で行った間伐は、あなたにとって満足できるものでしたか。



「満足だった」の回答が大半を占める。
「不満だった」の理由として「間伐する木の選木」、「あまり切りすぎて山崩れが起きないか心配」、「公道から100m規制により一部だけが対象になってしまう」、「もう少し伐った方がよい」などの意見がある。

(4) 今後の事業の在り方

問4 人工林整備事業を今後も続けた方がよいと思いますか。



「続けた方がよい」、「もっと行った方がよい」の回答が大半を占める。
「続けなくてよい」の理由として、「間伐しても売れる見込みがない」などの意見がある。

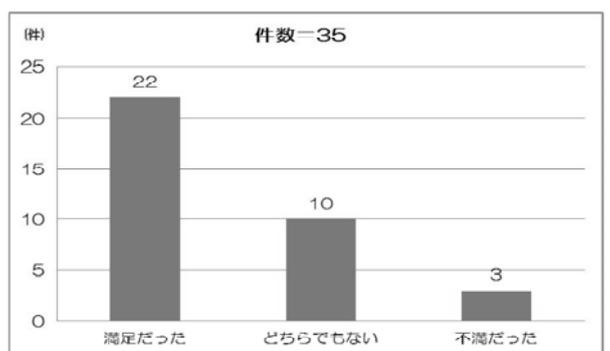
(5) その他、この事業に対する自由意見

「今後も事業を継続してほしい」、「作業道の整備をしてほしい」、「間伐材の利用を考えてほしい」、「公道沿いの伐採を進めてほしい」などの意見がある。

26

(3) 事業実施の満足度

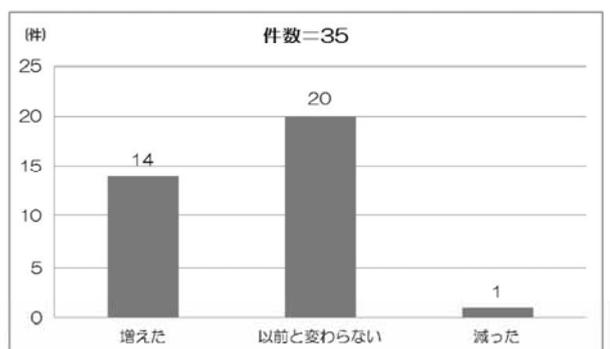
問3 この里山林の整備は、あなたにとって満足できるものでしたか。



「満足だった」の回答が半数以上を占める。
「不満だった」の理由として、「竹林伐採後、植栽し有効利用する方法はないか?」などの意見がある。

(4) 事業実施の効果

問4 この里山林の整備を行ったことで、あなたはその森林に行く回数が増えましたか。



「以前と変わらない」の回答が半数以上を占め、次に「増えた」の回答が多い。

28